

【佳作】「給食に感謝」

梨の里小学校

浅井 麻美衣

私は、小学校の給食が大好きです。夏休みや冬休み、春休みも毎日学校へ行つて、給食を食べたいくらいです。今も、早く二学期になって給食が始まってほしいなあと思っています。なぜ、学校の給食が好きかというと、とつてもおいしいからです。私の苦手な、生のトマトやキノコ類は、あまりでてこないの、天国のようです。以前苦手だったかぼちやのみそ汁、げんきサラダも美味しく感じられるようになりました。特に好きな給食は、ビビンバと肉じゃがです。その時は、必ずおかわりをします。担任の先生は、みんながビビンバや肉じゃがが好きなことを分かっているので、ジャンケンはずせに、欲しい子全員に少しずつ分けてくれます。ごほうびをもらった気分です。食べています。

でも、給食の時間にブーイングになったことが、一回だけありました。それは異物混入でビビンバが無くなった時です。その代わりに錦糸卵がいつもより多く出しましたが、

「えー!?なんでー?ビビンバないのー?」

とみんな口々に言っていました。みんなの大好きなビビンバが無くなってしまったので、給食中はいつもより少し静かでした。食べ終わった後、

「ビビンバ楽しみにしていたのにね。」と、みんながっかりしていました。でも、異物混入を見つけてくださった給食センターの人はスゴいなあと思いました。私達の給食を作るだけではなくて、安全にも気をつけて一生懸命働いて、とても大変だと思えます。だから、私達は、給食を安心しておいしく楽しく食べられるのだと思います。

私の家には、一年生の時からの献立表がずっとあってあります。小学校で初めて食べた記念すべき第一回目の給食は、ハヤシライスでした。ハヤシライスをどんな気持ちで食べていたかは覚えていませんが、一年生からずっと大好きな給食で、服やナフキンが汚れるのも気にせず食べています。そして、改めて、今まで六年間の給食の献立を見てみました。バランスの良い献立を考えてくださるので給食は本当にありがたいと母が言っていました。新メニューもいつもおいしいので楽しみにしています。

給食が、私の学校生活の楽しみの一つとなっているのは、給食センターの方々が一生懸命給食の献立を考え、給食を作り、さらに安全にも気をつけてくださるからなのだとふり返ることができました。あと半年ですが、毎日感謝の気持ちで給食を食べることができそうです。